

安全でおいしい水道水をつくるために ~水道局の取組を紹介します~

名水百選・太田川

広島市内に流れている太田川は、中国山地の冠山(廿日市市吉和・標高1,339m)を源としています。中国山地にふる雨は、ゆたかな森の土の中を歩いてくうちに、きれいでまろやかな水になります。その水が集まって大きな川となり、瀬戸内海に流れ込んでいます。

広島市の水道水のほとんどが、この川の水からつくられています。つまり、太田川がわたしたちの生活を支えてくれているんですね! すべては、ゆたかな自然のおかげなのです。

そんな太田川の中流域が、「名水百選」に選ばれているのを知っていますか? これからも、ゆたかな自然を守っていきましょう!

ダムや川では…

水道水のもととなるのは、ダムや川の水です。広島市では、ダムや川の水がよごれていないか調べています。もし油が流れるなど、川の水の異常を見つけたときに、すばやくその場所に行き調べてあげることができるよう「水質試験車」があります。



▲ダムの水をくんで、調査をしています。



▲水質試験車

じゃ口では…

家や公園のじゃ口で、定期的に水道水の検査をおこなっています。その中には、毎日検査をしている場所もあります。また、自動で検査する機械(水質監視モニター装置)を置くことで、24時間検査しています。



▲じゃ口での検査



▲水質監視モニター装置

水源では…

ゆたかな森には、水道水のもととなるきれいな水をつくるはたらきがあります。

水道局は、太田川の源である中国山地にある「広島市・太田川源流の森」で、ゆたかな森となるように手入れをしたり、みなさんの森林学習や森林保全活動の場として活用したりして、水源を守る活動に取り組んでいます。



▲森林保全活動の様子

配水池では…

配水池は、山の上などの高いところがあり、きれいになった水道水をためておくところです。ここからみなさんの家や学校に届けられています。

水を塩素消毒するために浄水場で次亜塩素酸ナトリウムを入れていますが、時間がたつと少なくなるので、浄水場からはなれた配水池でも足しています。

こうすることで、どの家でも安全な水が飲めるのです。

配水管では…

古い配水管は、こわれて水がもれたり、にごり水の原因になったりします。そのため、地震にも強い配水管に取り替えています。



▲取替工事の様子

取水場・浄水場では…

取水場は、川の水を取り込んで浄水場まで送るところです。浄水場は、水道水をつくる工場です。

くわしくは裏面の見学のポイントをチェック!

水槽には、魚が泳いでいます。



▲魚類自動監視装置

これらの場所では、水質などに異常がないかを、職員によるチェックはもちろん、魚(メダカ)にも協力してもらって調べています(魚類自動監視装置)。

家や学校のじゃ口



さいがい 災害にそなえて

広島市には、公園や小学校の地下などに、災害用の水槽(飲料水兼用型耐震性防火水槽)があり、災害が起こったらここから水を配ります。災害用の水槽がない避難場所では、給水車で水を配ります。

※水道水をくみ置きする場合は、直射日光をさければ3日程度飲用として保存できます。



ポリタンク(10Lくらいのもの)



災害のときにあわてないためにも、一人1日3Lのお水を用意しておいてね!

お水を持ち帰るためのポリタンクも用意しておく安心だよ!